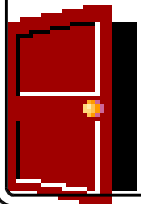


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和5年1月16日 文責 渡邊

## マルベリーの皆さんによる読み聞かせ とても温かな読み聞かせをありがとうございます！

マルベリーの皆さんによる「読み聞かせ」が月に一度開かれています。子供も職員もこの日を楽しみにしています。スタッフの皆さんの子供たちに届けたいという思いがそれぞれ選んだ図書から感じられ、何とも言えない幸せな時間が過ぎていきます。

令和4年12月15日(木)に、令和4年最後の読み聞かせがありました。暮れのお忙しい中、マルベリーの皆さんは、読み聞かせを行ってくれました。



【1年教室読み聞かせの様子】



【2年教室読み聞かせの様子】



【3年教室読み聞かせの様子】



【4年教室読み聞かせの様子】



【5年教室読み聞かせの様子】



【6年教室読み聞かせの様子】

今回、第1学年の読み聞かせで使用した図書は、『であえてほんとうによかった』（みやにし たつや作）、第2学年で使用した図書は、『エパミナンドス』（東京こども図書館）、第3学年で使用した図書は、『かしこいさかなは かんがえた』（ウォーメル・クリス作）、第4学年で使用した図書は、『わるいわるい王さまとふしぎの木』（あべ はじめ作）、第5学年で使用した図書は、『教室はまちがうところだ』（蒔田 晋治作）、第6学年で使用した図書は、『大きくなるっていうことは』（中川ひろたか作）です。1年生から6年生まで子供たちは楽しくお話を聴いている姿が見られました。

時折笑い声が聞こえる教室もありました。そんなときは読み手も調子が上がってきます。次はどういうストーリーへとつながっていくのかワクワクする子供たちの表情はとても愛おしいです。マルベリーの皆さんの表情も和やかで、子供とともに幸せな空間を創り出しているようにさえ感じさせてくれます。きっと子供たちは物語の世界を旅しているのでしょう。読み聞かせって本当に素敵なものだと思えました。

# 読み聞かせを終えての振り返り

読み聞かせを終えたマルベリーの皆さんは、会議室にて振り返りをその日のうちに行います。これは、本校のように規模の小さな学校の「強み」が大いに発揮された取組といえます。学校では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、対面式による参集型の研修会とともにリモートによる研修会が採用されるようになってきました。リモートによる開催の効果は確かにあります。しかし、対面式の研修もそのよさがあります。今回は、6名ということで対面式での振り返りを行いました。各人がそれぞれの図書の説明と子供たちの反応を紹介し合いました。会の中では時折、「いいお話だね」、「子供たちの笑顔が浮かんでくるよ」等の声が聞かれ、参加者が終始笑顔で会に参加していました。私も参加させていただいて心がとても温かくなりました。また、どうしてこの本を選んだのかの説明では、本校の児童に対する優しい気持ちが強く伝わってきて、校長として胸が熱くなりました。みなさんと顔を合わせてお話できることのありがたさを大いに実感しました。

この会には、学校図書館司書の小谷先生も読み聞かせと振り返りに参加しています。普段から子供たちの読書活動をよく観ている先生が参加していることも大きな「強み」となっています。

令和5年も読書活動を推進していく上で、「読み聞かせ」は大きな柱となります。これからも応援をよろしくお願ひします。



【「読み聞かせ」を終えて、皆で楽しく振り返りを行っている様子】

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」（1月16日号）を読んでの感想

( )年( )